

学校概要

昭和37年、三倉中学校と天方中学校の統合により本校が開校し(当時の生徒数535名)、本年度で56年目を迎えている。学区は、森町のほぼ3分の2の面積を占め、山の緑と三倉川や吉川の清流に囲まれた豊かな自然に恵まれた地域である。主たる地場産業は農業であるが、専業での従事者は極端に減少している。地域の少子高齢化・過疎化が深刻な問題になっている反面、学区内にある森町体験の里「アクティ森」をはじめ、新東名・森掛川ICの開業により町外からの訪問者も増え、地域活性化の期待が高まっている。

生徒は、総じて純真・穏和で、勤労意欲も高い。学年を超えて仲が良く、行事等での縦割り集団活動は積極的に行うことができる。また、平成18年度から『きれいな学校』を目指してスタートしたトイレ掃除は、今も学校自慢として生徒と職員に受け継がれている。

学校沿革

- 昭和

22年 三倉中学校・天方中学校創設

37年 2中学校を統合、泉陽中学校創設(4教場にて授業)
泉陽中学校PTA設立、校章制定

38年 校歌制定、校舎落成

41年 体育館落成

45年 プール完成

49年 セタ豪雨により校舎・グラウンド冠水
4教場に分かれて7/15より授業再開
11/23災害復旧工事完了、11/26町教委指定研究発表会

57年 給食棟完成、給食開始
- 平成

元年 新校舎落成式、給食棟移転工事完成

3年 創立30周年記念式典挙行、「青空の像」除幕式

4年 パソコン教室完成

11年 インターネット回線接続(職員室、パソコン室)
- 平成

13年 部室・体育器具室完成

17年 新体育館完成、校内LAN設置工事完了

18年 校舎ベランダ改修工事完了

21年 生徒用・職員用PC入替、泉陽中学校区給食拠点化開始

22年 プール内塗装工事、東面フェンス改修工事完了

23年 創立50周年、グラウンド改修工事

24年 特別支援学級床張替、ポンプ室ポンプ補修工事

25年 地下水ポンプ取替工事、野球場3塁側防球ネット改修工事

26年 プール滅菌機設置、ポンプ補修工事、2階トイレ改修工事

27年 県環自協表彰、「小さな親切運動」協力校指定

28年 静岡教弘教育活動奨励賞表彰

29年 生徒用PC入替(タブレット導入)、職員用PC入替

学級編成

学級	男			女			計	実家庭数
	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
1年1組	3			5			8	7
2年1組		5			7		12	10
3年1組			7			5	12	12
計	15			17			32	29

生徒数の推移

学年	男女	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
1年	男	3	6	6	10	7	3	5	9	5	3
	女	5	3	3	4	5	3	2	4	7	1
	計	8	9	9	14	12	6	7	13	12	4
2年	男	5	3	6	6	10	7	3	5	9	5
	女	7	5	3	3	4	5	3	2	4	7
	計	12	8	9	9	14	12	6	7	13	12
3年	男	7	5	3	6	6	10	7	3	5	9
	女	5	7	5	3	3	4	5	3	2	4
	計	12	12	8	9	9	14	12	6	7	13
合計	男	15	14	15	22	23	20	15	17	19	17
	女	17	15	11	10	12	12	10	9	13	12
	計	32	29	26	32	35	32	25	26	32	29

教職員一覧

職名	氏名	主な担当
校長	寺田敦朗	校務 人事管理
教頭	原田修	防火管理責任者 校舎管理
教諭	金原好伸	3年副担任 進路指導主事
〃	西川正	2年副担任 生徒指導主事
〃	水上伸治	教務主任
〃	池谷怜明	1年担任 総合的な学習担当
〃	太田華菜子	2年担任 研修主任 道徳主任
〃	宮本 敬利	3年担任 特別活動主任
主事	山本聡一郎	学校事務
臨時看護教諭	平岡沙由里	保健室管理運営 給食指導
臨時講師	岡部喜久代	1年副担任
臨時栄養職員	渡邊友美	栄養管理
非常勤職員	松村いづみ	美術科担当
非常勤職員	鈴木喜美子	家庭科担当
特別非常勤講師	鈴木純一	技術科(情報)担当
用務員	池田重子	用務 渉外
学校医：家城真理 学校医(耳鼻咽喉科)：森本雅太		
学校歯科医：渡辺浩 学校薬剤師：太田博志		

校内研修構想図

